

桑野川平川圖

凡 例

- 1925(大正14)年策定の改修計画堤防
- - - 現在の堤防(1925(大正14)年策定以降の計画)
- 1923(大正12)年時の施設
- 1923(大正12)年以降で現在撤去された施設
- 現在の施設



實測図
内務省
河川課
川村宗義
繪

岡 川

那賀川の派川だった岡川は、1943(昭和18)年に、那賀川の改修工事によってガマン堰が締切られ、現在は桑野川の支川となっています。

一の堰

一の堰(初代)は、1638(寛永15)年に造られた石造りの堰でした。その後、1946(昭和21)年の南海地震及び1949(昭和24)年のジュディス台風により堰の一部が崩壊するなど取水できなくなったため、徳島県は1953(昭和28)年に一の堰(第2代)を下流に改築しました。第3代目となる現在の一の堰は、1968(昭和43)年に完成し、桑野川下流南岸の阿南市富岡町、見能林町及び、才見町などに灌漑用水を供給しています。



一の堰(第2代)

桑野川改修

桑野川の改修計画は、1912(大正元)年洪水を監視、700m³/sとして1925(大正14)年に策定されました。河川改修は、1948(昭和23)年、左岸長生町から下流の堤防工事を進め、1970(昭和45)年に、富岡堤防、1973(昭和48)年に支川岡川関連堤防を完成させ、桑野川下流部の堤防締切が完了しました。しかし、1965(昭和40)年9月に当時の計画流量を突破する738m³/sの洪水流量を記録したため、1988(昭和63)年に計画流量を1,300m³/s(大原地点)に変更し、現在に至っています。



宝橋付近

三日月湖(大原)

1948(昭和23)年から始まった桑野川改修工事により、1954(昭和29)年に河道をショートカットしたため、「三日月」の形をした溜め池として残りました。現在は、約14,000m²の土地が廃川敷地として残っています。